

平成 24 年度国立大学図書館協会地区協会助成事業報告書（九州地区）

地区名	地区（主担当大学：九州大学）
事業名	講演会「ディスカバリ・サービスの導入と新たな基盤整備」
事業目的・趣旨	<p>学術研究分野において Web 上での電子的な学術コンテンツ利用が一般的となり、膨大な資料から目的とするコンテンツを即座に発見できるディスカバリ・サービスが注目を集めている。また、海外ではそれを支えるための機関を超えた連携や標準化、システム開発が活発に行われるなか、国内でも大学図書館と国立情報学研究所が連携した新しい学術情報システムの基盤整備が始まっている。今回の事業では、ディスカバリ・サービスのメリット及び導入方法、今後大学図書館の目指すべきサービスの方向性についての講演、事例紹介とディスカッションを通じ、参加者との意識共有を図るとともに、これからの大学図書館に求められる役割を考える機会とすることを目的とする。</p>
実施内容	<p>日 時：平成 25 年 2 月 22 日（金）13:00-17:15（予定） 場 所：九州大学中央図書館 新館 4 階 視聴覚ホール</p> <p>【講演】電子情報環境下における新たな基盤整備に向けて 国立情報学研究所 尾城 孝一 氏</p> <p>【事例報告 1】導入事例から考えるディスカバリ・サービス 佛教大学図書館 飯野 勝則 氏</p> <p>【事例報告 2】ディスカバリ・サービスを導入（構築）するには 九州大学情報システム部 片岡 真</p> <p>パネルディスカッション 尾城氏（NII）、飯野氏（佛教大）、片岡（九州大） 鹿児島大学学術情報部 北山 信一 氏 九州大学附属図書館 渡邊 俊彦（※コーディネーター）</p>
事業の成果 （アンケート調査結果、事業への意見・感想等）	<p>九州地区の大学図書館職員を中心に計 76 名の参加があり、各講演、報告、ディスカッションとも好評であった。</p> <p>【参加者の評価（一部）】</p> <p>「従来の横断検索とディスカバリサービスとの違いについてわかりやすく説明いただき、理解することができた」</p> <p>「システム構築に必要な作業を学ぶことが出来、参考となった」</p> <p>「すでに導入している大学の方と、これから導入する大学の方のパネルディスカッションは、自分の目線に近い感覚で話を聞くことができた」 等</p> <p>※アンケート結果一覧を別紙添付</p>
経費	<p>旅費・謝金：122,725 円 会議費：18,700 円 計：141,425 円</p>